



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

<人口>		
男	78,910	(-79)
女	82,888	(-49)
計	161,798	(-128)
<世帯数>		
	65,385	(+1)
2月1日現在 ()は前月比		

東 俳句で「横綱」を決定! 西

毎年恒例の「東西俳句相撲」が2月18日、総合福祉会館で開かれました。

自慢の俳句の披露を、相撲に見立てて行われるこの催し。当日は、2人1組252チームのうち、事前の書類審査を勝ち抜いた32チームが参加し、小中学生の部と一般の部に分かれて、トーナメント方式で対戦しました。

出場者は、小学2年生から80歳代まで、幅広い年代の皆さんで、県内市町や愛知県のほか、奥の細道ゆかりの都市として交流のある、東京都荒川区からも参加されました。

審査には、審査員のほか会場の観戦者も軍配を上げて参加し、甲乙つけがたい俳句の中から、各部門それぞれに優勝の「横綱」を決定。俳句に詠まれた情景が、それぞれの目に浮かぶと、笑い声やしみじみと感心する声などがあがって、会場全体が大いに盛り上がりました。

最後には、表彰式のほか、事前投句の優秀句入賞者8人の発表もあり、お互いの健闘を拍手でたたえながら大会を締めくくりました。



一般の部の横綱決定戦

横綱受賞句

<<小中学生の部>>

「雪の道 ぼくの両手に 父と母」 藤井詩音 (日新小学校3年生)

「母さんと 歩むあぜ道 霜柱」 真田志穂 (日新小学校6年生)

<<一般の部>>

「冬の夜は 立入禁止 兄の部屋」 吉川奈穂 (大垣商業高等学校)

「弟に 背丈抜かれて 初写真」 川村梨歌 (大垣商業高等学校)



小中学生の部の横綱決定戦

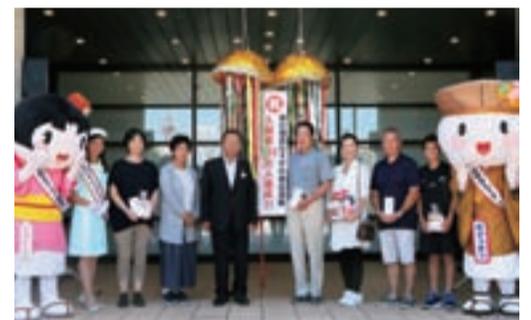
奥の細道むすびの地記念館

入館者140万人 達成クイズ

奥の細道むすびの地記念館の入館者が、まもなく140万人に達するのを記念し、「達成日予想クイズ」を行います。正解者には、抽選で10人に市の特産品をプレゼントします。

◆応募期間 / 3月1日から140万人達成の前日まで

◆応募方法 / 同館で配布の応募用紙



130万人達成時の様子

に必要事項を記入し、館内受付の応募箱へ ※1人につき1枚まで

◆問合せ / 大垣観光協会 (☎77-1535) へ

3月1日号 主な内容

- ▶市民大賞の贈呈、市・県民税の申告受付、無料可燃ごみ処理券配布など ... 2~3P
- ▶市民委員の募集、パソコン研修など ... 4~5P
- ▶特集「30歳に聞いた大垣のこと未来のこと」 ... 6~7P
- ▶平成30年度土曜授業の開催、催しのお知らせ、市民伝言板 ... 8~9P
- ▶健康ガイド ... 10~11P
- ▶大垣「ます」まつり、奥の細道むすびの地記念館企画展など ... 12P

春の全国火災予防運動

●●● 3月1日~7日 全国一斉に展開 ●●●

「火の用心ことばを形に習慣に」を統一標語に、春の火災予防運動が、3月1日から7日まで全国一斉に展開されます。

まだ暖房器具を使う機会が多い一方、空気が乾燥するこの季節は、火災が発生しやすい時季です。火災予防やいざというときのために次の7項目の実践を心がけましょう。

<3つの習慣>

- ◎寝たばこは、絶対やめる
- ◎ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ◎ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

<4つの対策>

- ◎逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ◎寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を

問合せ 消防本部予防課 (☎87-1512)
【上石津地域】養老町消防本部 予防課 (☎32-1510)

使用する

- ◎火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置する
- ◎お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

安心・安全のために、住宅用火災警報器を設置しましょう。いざというとき正しく作動するように、維持・管理も大切です。1年に1度は点検を行いましょう。